2011年度行事報告

【総　会】==========
日　　時：2011年7月23日（土）
場　　所：佐倉城址公園
参加者数：57名

総会が佐倉城址公園で行われました。事務局より22年度会計報告と23年度世話人と行事予定の提案があり了承されました。

【第61回観察会】==========
日　　時：2011年7月23日（土）
場　　所：佐倉城址公園
講　　師：吹春　俊光
参加者数：57名
採集数　：20種（不明種を含む）

例年この時期の観察会はきのこが少ないのが当たり前という感がありますが、それにしてもこの少なさ！硬いきのこがちらほらという悲しさ。暑くてカラカラ天気が続いているからでしょうか。でもこれも自然。仕方ないです。自然界のいきもの達は本当に大変なんだろうな…と思います。

汗だくで森の中を探し回った参加者の皆さん、お疲れ様でした。

観察会終了後、吹春講師による「毒きのこ」のスライド解説がありました。以前は食菌とされていた種からも次々と毒成分が検出されています。野生きのこを食する時には十分に注意しましょう。

観察記録（50音順）
アセタケ属,アミスギタケ,ウズラタケ,カボチャタケ属,クモタケ,クロラッパタケ,コフキサルノコシカケ,スジウチワタケ？,センベイタケ？,ツヤウチワタケ,ツルタケ,トキイロヒラタケ,ヒイロタケ,ヒカゲタケ属,ヒポキシロン属,ヒラフスベ(DNA鑑定ではアイカワタケと同種),ベニタケ属,変形菌類,ホコリタケ属,マスタケ？

【第62回観察会】==========
日　　時：2011年9月23日（金・祝日）
場　　所：泉自然公園
講　　師：吹春　俊光
参加者数：68名
採集数　：82種+α（不明種を含む）

昨年度、一部参加者の心無い行為により、公園側よりお叱りを受け、今年度の会場利用が危ぶまれた泉自然公園での観察会でしたが、何とか無事に開催することができました。これからも継続して利用できるように心がけたいものです。今年の夏は極端に雨が少なかったのですが、観察会の数日前に上陸した台風15号が雨をもたらしました。しかし、今度は気温が急に低くなったせいか、大型のきのこが少ないように感じました。それにしてもこの気温の急降下、きのこもびっくりしているのかも？

滋賀県など関西で猛毒のカエンタケが多く発生していることとの関連で、日本テレビの

「news every.」の取材班が観察会に同行し、この内容は9月 27 日に放送されました。因みにカエンタケの発生はナラ枯れに起因するらしいです。

観察記録 (50 音順)

アイゾメクロイグチ,アイタケ,アカキツネガサ,アカヤマタケ,アケボノオシロイタケ？,アシボソノボリリュウタケ,アセタケ属(赤っぽい),アセタケ属(不明種),アメリカウラベニイロガワリの仲間,アラゲキクラゲ,アンズタケ,イボテングタケ,ウラベニガサ,エゴノキタケ,オキナクサハツ,オトヒメアンズタケ(井口潔さんの仮称),オニタケ,カノシタ,カバイロツルタケ,カレバキツネタケ？,カワリハツ,キアシグロタケ,キシメジ,キツネタケ属,キツネノエフデ,キヒダカラカサタケ,クリイロイグチ,クロアシボソノボリリュウタケ,クロハツ,クロハツモドキ,ケショウハツ,コウジタケ,コガネショウロタケ(青木実さんの仮称),コタマゴテングタケ,コトヒラシロテングタケ,コバヤシアセタケ,サクラタケ,サンコタケ,シロハツ,ズキンタケ,スッポンタケ,ダイダイガサ,タマゴテングタケモドキ(アカハテングタケ),チチタケ,チチタケ属(不明種),チャオニテングタケ,チャヌメリカラカサタケ？,チリメンタケ,ツエタケの仲間(2 種),ツクツクボウシタケ,ツチグリ,ツチナメコ,ツヤウチワタケ？,ツルタケ,冬虫夏草(アブラゼミ),冬虫夏草(カミキリムシ),トキイロヒラタケ,ドクツルタケ,トゲミノカラカサタケ？,ナナフシテングノメシガイ,ニガクリタケ,ニセショウロ属,ノウタケ,ハイイロシメジ,ハラタケ属,ヒメツチグリ属,ヒメヌメリイグチ？,ヒメヒガサヒトヨタケ？,ビョウタケの仲間,ヒロハシデチチタケ,ヒロヒダタケ,フクロツルタケ,フサヒメホウキタケ,ベニタケ属(不明種多種),ベニヒダタケ,マメザヤタケの仲間,モミジウロコタケ,モリノカレバタケ属,ヤグラタケ,ヤナギマツタケ,ユキラッパタケ

【第 63 回観察会】==========
日　　時：2011 年 10 月 16 日（日）
場　　所：市原市民の森
講　　師：吹春　俊光
参加者数：60 名
採 集 数：78 種（不明種を含む）

ケヤキの葉が茶色く縮れているのが目立つのは夏の乾燥がひどかったから？他の広葉樹も紅葉がいつもより綺麗じゃない気がしました。きのこに関しては、秋も深まってきた今頃になって、タマゴタケやカラカサタケなど夏のきのこがたくさん採れました。例年なら大量に採れるフウセンタケの仲間やウラベニホテイシメジなどの秋のきのこは少なめでした。自然界では暦が大幅に狂っているらしい。

今年、気になるのはやはり放射線の影響です。菌類は放射性物質を吸収しやすいとのことですが、同様に落ち葉を分解するミミズや多くの土壌生物達、それを捕食するモグラなどの哺乳類や鳥類など、何も知らないで内部被爆してしまうのですね。今後長期間に渡って生態系に及んでいくだろう影響を考えると心配です。

観察記録（50 音順）
アオイヌシメジ,アオゾメタケ,アカチャツエタケ？,アカヤマタケ属(オレンジ色),アカヤマタケ属(黄色),アシボソノボリリュウタケ,アセタケ属(３種),アラゲキクラゲ,ウスタケ,ウスヒラタケ,ウラベニホテイシメジ,ウラムラサキ,エリマキツチグリ,オニウスタケ,オニタケ,カヤタケ属,カラカサタケ,ガンタケ,キシメジ属,キショウゲンジ,キチャハツ,キツネノカラカサ属(大型),キツネノカラカサ属(小型),キツネノロウソク or キツネノタイマツ？,キヒダフウセンタケ,クサウラベニタケ,クロハツの仲間,コタマゴテングタケ,サクラシメジ,サクラタケ,サマツモドキ,ショウロ,シロヌメリカラカサタケ,スギエダタケ,スギタケ,ズキンタケ,スミゾメヤマイグチ,ダイダイガサ,タマゴタケ,タマシロオニタケ,チチタケ属,チャカイガラタケ,チャヒラタケ属,ツエタケの仲間,ツチグリ,ツチナメコ,テングタケ,ドクツルタケ,トビチャチチタケ,ナラタケ類,ニガイグチ属,ニガクリタケ,ヌメリイグチ,ヌメリガサ属(白色),ノウタケ,ハエトリシメジ,バカマツタケ,ハタケシメジ,ハナオチバタケ,ハナビラニカワタケ,ハラタケ属,ヒトヨタケ,ヒメツチグリ属,ヒョウモンクロシメジ,フウセンタケ属,ベニチャワンタケモドキ？,ホウキタケ属,ボーベリア(Beauveria)属(昆虫につくカビ),ホコリタケ属,マメザヤタケ属,ミドリスギタケ,ミネシメジ,ミヤマタマゴタケ,モリノカレバタケ属,ヤマドリタケモドキ,ワカフサタケ属

【第 20 回スライド会】==========
日　　時：2012 年 1 月 14 日（土）
場　　所：千葉県立中央博物館講堂
参加者数：61 名

スライド発表（発表順）
宮林八男：千葉県内でみつけた 2011 年のきのこ
前川啓二：カビとキノコと仲良くなろう
－東京都江戸川区立子ども未来館で２回に渡って行った講座を紹介－
*ウクレレ伴奏付「どんなカビが好き？」が披露されました。
山本充弘：2011 年ちょっと気になったキノコ
*南房総市のアミヒカリタケ。千葉で

は珍しいそうです。

天野典英：1983 年日本で開催された第３回国際菌学会議の観察会
－東京大学清澄演習林での菌類採集会の記録写真、日本の菌学の先人のスナップ写真－
*本郷先生、吉見先生のお元気な姿、懐かしかったです。

浅井淑子: きのこ観察は楽しい
*今回がデビュー作でした。

三休さん：キノコ門スター　アルボニグラ
「きのこ言えるかな？」　ラップ調の歌が飛だしました

吹春俊光：日本菌学会の観察会やアマチュアの会の紹介

ハンドベルサークル「すずらん」による演奏

曲目「ONE LOVE」「ふるさと」「ありがとう」

「すずらん」の皆さんは寒い中、ずいぶん早い時間から準備していました。それにしても皆さんとても元気です。最近よく聞く言葉ですが、本当に元気をいただきました！

毎回「演奏する機会を与えて頂き感謝します」と挨拶してもらいますが、こちらこそ、「いつも一生懸命で、すてきな演奏をありがとう」と感謝です。また来年もよろしくネ。

きのこグッズ展示コーナーより

今年も数々の出品ありがとうございます。どうぞ来年もふるってご参加ください。以下に展示品の紹介をいたします。

＜写真・絵画＞

※スナップ写真はこちらで展示します。
・「変なきのこたち」、「カッパドキアのきのこ岩」、「コンテナヒラタケ」
・ジュール・ヴェルヌ「地底探検」より挿絵

＜資料・書籍等＞

・「2011 年気温・雨量・ヤマドリタケモドキの発生と 2011 年のキノコ（行田公園）」、カナダのきのこ図鑑
・書籍紹介：「日本のきのこ」、「おいしいきのこ毒きのこ」

＜展示品その他＞

手拭い２種、ハンカチ、Tシャツ、手作りきのこ編みぐるみストラップ、カファレルのチョコレート瓶、手作りの陶器製キノコ夫人２種、手作りの陶器時計２種・大皿・キヌガサタケ・ブナシメジ、煙出し人形２種、ぬいぐるみ２種、ガチャポン、フェルト製バッグ、きのこの山（宇治抹茶・紫いも）、「みえのきのこ」鍋ミトン、きのこ杯、ホクトのキャラクターグッズ、松露酒造の前掛け、ベニキノコビトのグッズ３種、手作りユニット式採集鎌、手作り採集用竹べら、四葉のしおり、手作りキャラメル、ベニテングタケ柄の金太郎飴、サータ・アンダギー、ゆず、どんぐり独楽、乾燥茸（アミガサタケ、アラゲキクラゲ、ヒラタケ）、採集生菌（ヒラタケ、エノキタケ、ショウロ、コフキサルノコシカケなど）。

※一部の展示品は参加者へプレゼントされました。ご提供をいただきました皆様、どうもありがとうございました。なお出品者名は割愛させていただきました。　（このコーナーは会員の菊地栄子、大蔦和子が担当しました。）

ハンドベルサークル「すずらん」による演奏

自作の陶器のキノコ絵皿、時計やランプなどを展示した宮林さん（右）

展示の解説に興味しんしんの面々

陶器のクロックとキノコ

キノコ絵皿の裏面

きのこグッズ展示会場

撮影したキノコ写真の解説に聞き入る参加者